



音楽大好き人間をより多く

御堂筋のカーニバル

大阪府中央公会堂が文化の殿堂と説明を受けたのは、家内とのデートの時だった。「私が小学4年の時、大ホールで花束贈呈をしたの。キリスト教の音楽伝道団のビリー・グラハム一家のハープ演奏と、プロテスタント伝道会の席上でした」と牧師の娘らしい内容だった。しかし今回は、文化の発信基地として新しい扉を開く中央公会堂である。それを知るキッカケは

10月6日から3日間、中之島から案内状であった。京都市立芸術大学、相愛大学の非常勤講師で、ヴァイオリニストの大谷玲子さんからの案内状であった。

大谷さんは小学1年から6年までずっと、毎土曜日午後3時から7時半まで、御堂筋本町にある相愛学園にヴァイオリン練習に通ったという。相愛学園は明治時代に設立され、女子教育、音楽教育に力を入れてきた。大谷さんは、情操豊かな人間への成長を越えて、人の情操を豊かにするエンターテイナーとなり、後進を育てる教育者にまで活動の幅を広げておられる。直近では、相愛のことも音楽教室の試験審査をしたり、気楽に個人教授を引き受けたりと、優しい人柄に幅と厚みが出てきた。世間はちやんと見ており、大阪市の「咲くやこの花賞」を受賞されたのもうなずける。

メモ
中之島国際音楽祭は、大阪市中央公会堂とシティホール(市役所玄関ホール)を会場に、市などが昨年からの開催。今年のメインテーマは「ヴァイオリン大集合」で、10月6〜8日の3日間、コンサートやトークショーなど全17公演が開かれる。問い合わせは大阪城ホール文化振興部(06・4792・2061)。



京都府立芸術大学、相愛大学の非常勤講師で、ヴァイオリニストの大谷玲子さんの案内状であった。大谷さんは小学1年から6年までずっと、毎土曜日午後3時から7時半まで、御堂筋本町にある相愛学園にヴァイオリン練習に通ったという。相愛学園は明治時代に設立され、女子教育、音楽教育に力を入れてきた。大谷さんは、情操豊かな人間への成長を越えて、人の情操を豊かにするエンターテイナーとなり、後進を育てる教育者にまで活動の幅を広げておられる。直近では、相愛のことも音楽教室の試験審査をしたり、気楽に個人教授を引き受けたりと、優しい人柄に幅と厚みが出てきた。世間はちやんと見ており、大阪市の「咲くやこの花賞」を受賞されたのもうなずける。